

1 教職員研修について

新居浜市では、統一して CMSを導入することにした。学校Webページは、学校の日常を伝える手段として非常に有効であるが、一方で、運用にかかる負担が大きく、校内の組織体制づくりも十分でない事が多い。また、Webページ作成の技術に詳しくなかった担当者が転勤すると、更新されなくなり、情報が古いもののままで止まってしまうケースもあった。保護者・地域などに対し、学校教育活動への理解を高め、学校との信頼関係を形成するために、開かれた学校づくりが大切となってくる。その手段の一つとして、学校Webページが上げられると考え、下記の要領で研修を行った。

2 情報教育夏季実技研修会

(1) 日 時 平成23年 8月17日(水)・30日(火) 10:00～16:30

(2) 場 所 新居浜市立中萩中学校

(3) 参加人数 53名

(4) 研修内容

研修1 CMSを利用したWebページの特徴について

サイト構築の基本設定

素材の加工

研修2 サイト作成

自校Webページのコンテンツ入力

研修3 自校Webページのコンテンツ入力

研修4 カスタマイズ方法、公開方法について

学校Webページの運用について

3 成果と課題

(1) 閲覧数の増加

保護者や地域の方々の閲覧数が増えたと思われる。利用者のほとんどが保護者や地域の方々と思われ、学校行事の後に閲覧数が急激に増えているのがわかる。また、天候等により行事開催が左右される場合や緊急連絡の際、保護者へのメール配信と並行して更新されるお知らせコーナーが利用されている。

(2) Webページ更新に関わる教職員の増加

画像を簡単にアップロードできる手軽さがあり、Webページ更新に関わる教職員の数が増えた。11月下旬、市内のA小学校で教職員を対象に「CMSによるWebページ移行について」のアンケートを行い、Webページ作成についての意識調査を行った。多くの教職員が、研修のための操作手順書の作成とその活用が、Webページ作成に大変有効であり、以前に比べてアップロードは簡単になったと感じている。また、多くの教職員がWebページによる情報提供が有効であると認識していることも分かった。それに伴い、アップロードの回数も着実に増えてきており、そのことが、教職員の ICT活用能力を高めるための研修とつながっている。

(3) 運営上の課題

まだまだ教職員間において学校Webページに対する必要性に差があるようにも思われる。全教職員がIDを持っているが、研修を行ってから実際に作成している教職員は月日が経つにつれて、偏りが出てきた。更新頻度が多いのは以前のWebページ担当等一部の教職員で、依然と同様の負担になりつつあるともいえる。日々の学級経営、教科指導、部活動に追われ、時間等にゆとりがなく、Webページに意識が及ばないのが現状である。学級・学年の取組を紹介するだけでなく、幅広い視点からのWebページ活用を工夫していく必要がある。